

平成 21 年 2 月 25 日

プレスリリース

JA バンクアグリ・エコサポート基金

アグリ・エコファンドの投資先決定について

当基金は、JA バンクの CSR 事業である「JA バンクアグリサポート事業」の一環として、「アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合」(以下「アグリ・エコファンド」という。)に有限責任組合員として参加し、農業振興・環境貢献に取り組む企業経営体を支援することとしています。

このたび、アグリ・エコファンドから以下の 3 社への投資が決定されましたので、その概要をご紹介します。

1. 株式会社ファインドニュース(大分県) <http://findnews.jp/>

- ・ 当社は、有機・無農薬で栽培したハーブを、化学物質を使用しない独自のノウハウで加工し、食品・飲料・化粧品向けの原料および製品として販売しています。
- ・ 大学や県の研究機関と連携し、約 15 年にわたりハーブが有する機能性の研究・データ蓄積に取り組んでおり、健康志向や安全志向にマッチした新商品の開発も期待されます。
- ・ ハーブの栽培は遊休農地を活用して行われています。今後の事業拡大に伴い原料ハーブの増産が見込まれますが、引き続き遊休農地を活用した事業展開が計画されています。
- ・ 当社の取組みは、農地の有効活用や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

2. 日本味紀行株式会社(大阪府) <http://nippon-ajikikou.jp/>

- ・ 当社は、独自の製法により、国産食材を中心に「常温で長期保存・携行が可能」「そのまま食べられる」「美味しい」UAA(ウルトラ・アンチ・エイジング)食品の製造販売を行っています。
- ・ 現在は防災・保存用や海外・レジャー向けの携行用が中心ですが、今後、食事制限対応(メタボ対応)やダイエット用などのメニューも充実させていく予定です。
- ・ 当社の商品は、常温で最長 5 年間保存可能なため、食材の有効利用や廃棄食品の削減にも有効と言えます。
- ・ 当社の取組みは、国産農畜産物の普及・有効利用と環境保全につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

3. ウォーターフライヤー株式会社(東京都) <http://www.waterfryer.co.jp/>

- ・ 当社は、水と油が分離する性質を利用したユニークな厨房用フライヤー(揚げ物器)を開発し、その製造販売を行っています。
- ・ 当社の製品を使うことで、油の使用量が抑えられ廃油を削減できる効果が得られます。さらに油煙の発生も抑えられるので、油調理特有のにおいやべたつきがほとんどなくなるなど、環境改善の効果も期待できます。
- ・ 今後は、水と油を分離する機能を持つ流し台(エコシンク)の製品化も予定されています。
- ・ 当社の取組みは、油脂原料節約を通じた食料自給率の向上や環境保全につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

[参考:アグリ・エコファンドの概要]

名称	アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合
準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律
無限責任組合員	JAICシードキャピタル株式会社
有限責任組合員	日本アジア投資株式会社および当基金
出資金総額	21億円(うち当基金20億円)
投資対象	農業関連を中心に、農業振興・環境貢献に資する取組みを行う企業経営体(株式未上場会社)
設立日	平成20年8月5日

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

JAバンクアグリ・エコサポート基金 保田 (電話 03-5283-3700)